

# 青島小学校 グランドデザイン

【国・県・市の施策】  
 <国> 3つの資質・能力の育成  
 <県> 自分ごととして学ぶ子  
 <市> 笑顔あふれる教育

【校訓】

## 誠実

(1905・明治38年～)

【本校子供の様子】

- 優しさと素直さがある
- 頑張る子が多い
- 自らの良さや可能性を今後更に発揮できることが期待できる子が多い

【学校教育目標】 自立・共生

### 明き心と 思いやり 自ら動き 学び合う子

【学校教育目標に込めた願い】 将来における自立の素地として、次の資質・能力を育てたい。

- ①明き心…正直で素直な明るい心。校訓「誠実」の根幹となる。
- ②思いやり…人との関係や社会生活での正しい判断や行動の拠り所（自分よし・相手よし・みんなよし）
- ③自ら動く…周りに安易に流されることなく、自らの良さを正々堂々と発揮する主体性
- ④学び合い…困難な状況や問題の解決に向けての、考えや立場の異なる多様な他者との協働力

【学校経営目標】

### どの子も安心の笑顔あふれる幸せな学校

#### 青小を日本一幸せな学校にしよう

【できる幸せ・する幸せ・もらう幸せ・幸せの共有】

「ありがとう」「ありのまま」「なんとかなるさ」「やってみよう」

【学校経営の努力点】

みんなが安心して学べる  
95%

学校が楽しい  
98%

- 1 安心・安全な学校づくり
- 2 楽しくて力のつく授業づくり
- 3 幸せを意識した積極的な生徒指導
- 4 特別支援教育への理解と浸透 UDの推進 特別支援教育を必要とする子への細やかな指導
- 5 組織の活性化と信頼されるプロの教師集団形成

自分で考えてよりよい行動ができる  
92%

わかりやすく楽しい授業  
96%

【指導4領域で育みたい資質・能力】

問題解決能力

情報活用能力

自己調整力

コミュニケーション能力

研修（研修部）	研修（GIGA部）	生徒指導部	特別活動部
◎本気で考えるための仕掛け ○各教科の見方・考え方を踏まえた単元構想及び授業構想 ○つけたい力を明確にした導入の工夫、振り返りの場の設定 ○聴く力、話す力の育成 ○事後研修の工夫と充実	◎タブレット活用による授業改善の推進と校務のICT化推進 ○授業改善の提案 ○系統的な情報活用能力の育成 ○情報モラル、情報セキュリティに関する教育の実践 ○業務の効率性向上と改革の提案	◎自分も大切 相手も大切 =【みんなの幸せ】 ○自分も相手も周りも幸せになるように感じて動く子の育成 ○明るく気持ちの良い挨拶 ○互いを大切にしよう優しい言葉と行動 ○チャレンジする姿勢 ○レジリエンスの育成	◎自ら動き、仲間とかかわりながら高め合える集団 ○挨拶の日常化（自分から挨拶） ○良さを認め合えるピア・サポートの推進（温かな人間関係） ○子供の思いから始まる活動（代表委員会の充実・自治的集団形成）

【学年の重点】

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	杉・星
ぐんぐん	にっこにこ	ほかほか SUN SUN ～さあ、行こう～	チャレンジ4	Ready Go! ～自ら動く高学年に～	考動 ～するを連ねる～	なかよく がんばる子
「げんきのたね」「やさしさのたね」「チャレンジのたね」をぐんぐんのぼそう。	ぼくもわたしもにっこにこになるような2年生を目指そう。	温かな気持ちで友だちと元気に頑張ろう！失敗をおそれず、みんなの前に進もう！～さあ、行こう！～	『みんなのために』『一人のために』『全力で』『最後まで』チャレンジできる4年生になろう	高学年として、日々の生活、学習に自ら一生懸命取り組むことで、小さな成長を積み重ね、最高学年を目指そう。	目標に向かって見通しをもち、「考える」「動く」を繰り返して、失敗をおそれずチャレンジし続けよう。	認め合い、励まし合い、できることを増やして自信を持ってすごそう。（知的）情緒を安定させ、社会性を高めていこう。（自閉・情緒）

【生活習慣に基づく3学期制 まとまりのある評価の前・後期制】

学期	思いやりの心を育てる1学期	かかわり合って高め合う2学期	感謝で幸せを感じる3学期
評価	前期（4～9月）	後期（10～3月）	

【青島中学校区学校運営協議会】

「あいさつ」からはじまる自分づくり・絆づくり  
 ～笑顔かがやく青島の子 伸びゆく青島の里～

【働き方改革】

『子供・職員そしてその家族もみんな幸せ』を目指して  
 ○月・水の児童下校時刻14:20→授業準備等の時間確保  
 ○職員会議16時終了→要点を押さえた提案、業務全般のスリム化・ICT化

